

編集委員のページ



白野 倫徳

大阪市立総合医療センター感染症内科医長、医学博士

新型コロナウイルス感染症患者受け入れ重点医療機関で日々診療にあたっている。

新型コロナウイルス感染症診療の最前線から

当院では、主に重症から中等症の新型コロナウイルス感染症患者さんを受け入れています。新型コロナウイルス感染症患者さんの集中治療には、通常よりも多くのマンパワーを要します。当院では4病棟を閉鎖して看護師を集めたり、各診療科から応援医を派遣したりしています。通常の手術や救急患者さんの受け入れも制限されています。病院に求められる機能もスタッフのモチベーションも維持しつつ、この対策を続けるのは、もはや限界にきています。

「三密」を避けるとか、マスクをすとかいうのは誰もが知っていることです。でも、自分の生活環境に当てはめてどう行動すべきか、分かっているようで分かっていない人も多いのではないのでしょうか。新型コロナウイルスが厄介な点として、発症2日前より感染力があること、無症状者が多いこと、検査の感度は100%ではなく、検査で陰性だからと言って安心できないことなどが挙げられます。つまり、感染リスクをゼロにはできないので、「自分が」「相手が」感染しているかもしれない、と想定して行動することが求められます。自分の行動がどのような影響を及ぼすか、想像することも大切です。若い人は自身が感染してもほとんどが軽症で済みますが、家庭や職場に持病をもつ方や年配の方がいれば、感染すると命に関わるかもしれません。大学や職場に多大な迷惑をかけるかもしれません。そういったことを考えていくと、自分は今何をすべきか、何をしてはいけないか、見えてくるのではないのでしょうか。

寄付者のご芳名

当協会にご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。

(匿名希望を除く。50音順、2021年2月末現在)

この紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

稲本 孝好 様

小野 恵美子 様

梶原 信也 様

高橋 弘枝 様

千葉 鐘子 様

中嶋 秀昭 様

中村 裕美子 様

公益社団法人大阪府看護協会

一般社団法人生産技術振興協会